

【第4回 蒲田西プラットフォーム開催内容】

◆開催日:11月20日(金)17時~18時15分

◆場所:蒲田西特別出張所 会議室

◆参加者:37名

地域関係者、介護事業者、障害者福祉事業者、東京工科大学、シニアクラブ、民生委員児童委員、社会福祉法人、NPO 法人、(株)JCOM、民間企業、大田区役所職員等。

◆内容:

①プラットフォームを通じたつながり紹介

東京工科大学と子ども食堂だんだんさんの「イスプロジェクト」

②グループワーク形式(6グループ)の話し合い

【テーマ:地域活動への様々な世代の参加について】

(1)地域活動に様々な世代が、関心を持ち、参加が進むと何が、どこが良いと感じますか？

- ・若い方(学生さん)が軽いニュアンスで言っていることでも、目に見えて変わることによって受け入れられる。長く関わっている人の「経験」と若い世代の「勢い」がうまく関わることで、良い方向に変わるのではと感じた。
- ・同じ活動を多世代が行うことで、違いを見つけることができる。また、課題解決に向けて意見を言い合うことで、世代を超えて理解しあえる。

(2)地域活動に様々な世代が参加できないのは、なぜでしょうか？

- ・参加したくてもどこに行けばその情報が得られるのかが、分からない。情報を届ける方法をしっかり考えることが大切。

◆アンケート結果:参加満足度:85%

■主な参加者の声:

- ・様々な世代を取り込むにはどうしたらというテーマだったので、参考になる話を聞いてよかったです。
- ・今回、初めて参加させていただきました。
蒲田西の地域の事や、自分の地域との比較ができたりして良かったです。また、世代を超えて共通点を見つけたり、意見を言い合ったりする機会はあまりしなかったのでもとても新鮮でした。
- ・蒲田という地域の持続性を真剣に考えることが出来た。もう少し話し合いの時間は、長くても良いと感じた。
- ・地域の中で成長して来た自分が、地域に何かを還していきたい、との思いを改めて明確にできました。
- ・世代間交流は中々ムズかしい…だからこそこの会をきっかけに何か一歩前へ進みたい
- ・地域の方々が地域での取り組みをより良くしようとするなどとても積極的に考えていたりして、自分の住んでいる地元ではこういったことは無く、地域でのPFに初めて参加して地域に対してより興味・関心が湧きました。



《プラットフォームの風景》